

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

小青竜湯エキス顆粒Sクラシエ

(ショウセイリユウトウ)

特 徴

- 「小青竜湯」は、漢方の古典といわれる中国の医書「傷寒論」^{ショウカンロン}に収載されている薬方です。
- うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出る方の感冒、アレルギー性鼻炎、花粉症などに効果があります。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
- (4) 胃腸の弱い人
- (5) 発汗傾向の著しい人
- (6) 高齢者
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
- (8) 次の症状のある人
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効 能

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症



アレルギー性鼻炎



感冒

(裏面につづきます)

用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	1包	3回
15才未満7才以上	2／3包	
7才未満4才以上	1／2包	
4才未満2才以上	1／3包	
2才未満	1／4包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

成 分

成人1日の服用量3包(1包1.5g)中、次の成分を含んでいます。

*小青竜湯エキス(3/4量)……………3,900mg

〔マオウ・シャクヤク・カンキョウ・カンゾウ・ケイヒ・サイシン〕
〔ゴミシ各2.25g、ハンゲ4.5gより抽出。〕

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールを含有する。

〈成分に関連する注意〉

本剤は天然物（生薬）のエキスをを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (5) 1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管し、2日をすぎた場合には服用しないでください。



健康アドバイス

●体を休めましょう



かぜを早く治すためには睡眠を十分にとって、体を安静に保つことです。また、体力をつけるため、栄養のバランスのとれた食事を心がけましょう。

●換気に気を つけましょう



空気が汚れていると、せきを誘発することにもつながります。暖房中でも、ときどき窓を開けて新鮮な空気と入れ替えましょう。湿度の低下にも注意してください。

●体を温めましょう



かぜをひいた時は、胃腸に負担をかけないおかゆや、温かいミルクなどが適しています。また、体を温めるには「しょうが湯」を飲用するのの一つの方法です。

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎ 0120-149-931

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

クラシエ 薬品株式会社 お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334
受付時間 10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

ホームページ www.kracie.co.jp

発 売 元 **クラシエ 薬品株式会社**
東京都港区海岸3-20-20（〒108-8080）

製造販売元 **クラシエ 製薬株式会社**
東京都港区海岸3-20-20（〒108-8080）